

帯広署管内の交通事故死者数 去年同期比4倍に

道内の64警察署の中で、最も悪い数字
警戒強める

取り締まり強化 ⇒ 事故防止

2024/11/18（月）

今年に入り、帯広警察署が管轄する地域で起きた交通事故の死者数が17日時点で8人と、去年同期比で4倍に増加していて、警察では、取り締まりを強化するなどして事故の防止を図ることにしています。

帯広警察署によりますと、管轄する帯広市や音更町、幕別町など8市町村で発生したことしの交通事故死者数は、17日時点で去年同期比6人多い8人と、道内の64警察署の中で最も悪い数字となっています。

年代別では、50代と70代、それに20代がそれぞれ2人で、50代以上で見ると、半数以上を占めています。また、亡くなった8人のうち、4人は歩行者で、道路の横断中、車にはねられたり、ひき逃げにあったりしたということです。

帯広警察署は、冬の交通安全運動に合わせて反射材を市民に配布して安全を呼びかけたり取り締まりを強化したりして、事故の防止を図ることにしています。

帯広警察署の交通第1課長は「飲酒運転の取り締まり強化を図るだけでなく、歩行者への啓発などを行って事故防止に努めたい」と話していました。